

林業・木材産業の成長産業化（日欧EPA対応）

国際競争力に打ち勝つためには

林業・木材産業の現状と課題

●原木の安定供給

- ・森林資源は充実してきたものの、森林整備は奥地化しており、間伐材の搬出利用は頭打ち
- ・林業専用道（トラック道）の整備や機械化の遅れなどから、原木生産の低コスト化及び安定供給体制の立ち遅れ（急峻な地形に応じた作業システムの定着）
- ・間伐や皆伐後の再造林に意欲のない森林所有者が増加

●木材需要の拡大

- ・製材品の需要は、外材や集成材との価格競争などにより長期低迷
- ・将来的な人口減少などにより、木材の主な需要先である住宅の着工戸数は減少傾向
- ・非住宅建築物は、鉄筋コンクリートや鉄骨造が主流であり木造率は低位

●林業の担い手の育成、確保

- ・十分に活用できる森林資源があるにもかかわらず、担い手不足により原木の増産は滞っている
- ・林業就業者数は下げ止まり傾向にあるが依然として減少

●日欧経済連携協定の大枠合意

今後、林業・木材産業は大きな転機に直面

成長産業化に向けた対応方針

●原木の安定供給

- ・原木生産の低コスト化に向けては、林業専用道などの整備や高性能林業機械の導入が必要
- ・皆伐後の植林や下刈などの低コスト化が必要



●木材需要の拡大

- ・国産製材品の競争力を高めるためには、ハード、ソフト両面から事業体の経営体質の強化を図ることが必要
- ・非住宅建築物の木造化に向け、A材対策として一般流通材などを活用した新たな技術開発や、CLTなどを核とした需要拡大が必要
- ・木材需要の新たな需要先として、海外への市場開拓が必要



●新たな担い手の育成、確保

- ・国産材の安定供給を担う人材の育成、確保を図ることが必要
- ・非住宅建築物の木造化には、木造を設計できる建築士の育成が必要

